

ひがしいず幼稚園-職員室だよ！-

令和 7年 7月18日



1学期ももうすぐ終わり。今年は、梅雨が明ける前から暑い日が続いていますが、子どもたちは暑さにも、太陽の強い日差しにも負けず元気に過ごしています。大きな事故や怪我がなく元気に過ごせたことが何よりもうれしく思います。

1学期は、生活や遊びの中で初めての体験や多くの方とのふれあいなど、ドキドキワクワクすることがたくさんありました。その時々で、「自分の頭で考え」、「思いやりあふれ」、「いっぱい体を動かし」大きく成長しました。目の前にいる我が子を見て、「できなかったことができるようになっていく」「何かひと回り大きくなったみたい」など変化に気づくことも多いのではないのでしょうか。園目標である「夢中になって遊び込める子ども」に一步前進ですね！2学期にはもお～っと頭・体・心を動かさなければならぬことがたくさんあります。夏休みにパワーをチャージしておいてくださいね。お家の方からかけられた温かい言葉が子どもたちのパワーになります。頑張った子どもたちをたくさん褒めてあげてください。そして、長い夏休み。交通事故や水の事故などにあわないように注意して、過ごしてくださいね。

9月1日、子どもたちの元気な笑顔に会えることや夏休みの思い出話をたくさん聞かせてもらえることを楽しみにしています！！



年少 ほし組

初めての集団生活に戸惑い、不安から涙ぐんでいた子どももすぐに慣れ、キラキラした笑顔に変わっていきました。毎朝、部屋の入り口では「〇ちゃん、来たよ～」「おはようー」と元気な挨拶が聞こえてきます。そして、担任が子どもたちの興味のあるような遊びや教材を良いタイミングで出してくれるので、好奇心旺盛なほし組さんは毎日楽しそう！好きな遊びをすぐに見つけ夢中になって遊んでいました。初めは一人でやっていたことも「何してるの？」「やってみたい！」と仲間が増え、いつの間にか6人が頭や身体をくっつけながら一つの遊びを楽しむ様子がみられました。何事にも一生懸命の年少さんのけなげな姿が可愛かったです。



年中 にじ組

年少さんが入園し、一つお兄さん、お姉さんになったにじ組さんは、当番の仕事も増え、園生活に張り切って取り組む姿がみられました。「線路の石を見たい」という子どもの声をすぐにキャッチした担任。子どもたちと大川駅に行き、本物の線路や踏切を見ることができました。すると部屋中に子どもたちが作った線路が四方八方に伸び、踏切や車庫などでいっぱいになりました。さらに、園庭にも線路ができにじ組電車が元気よく走っていました。他にも、交流保育の中で、年長さんから刺激を受け真似をしたり、年少さんの面倒を見たりと、多方面で頑張っていました。夏祭りでの“もったいない音頭”。自信満々に踊っている姿がかっこよかったです。



年長 そら組

そら組さんは立派に幼稚園のリーダーを努めてくれました。年少さんの朝の身支度や遊びの片付けを手伝ったり、園外保育では手を繋ぎ、歩く位置を入れ替わり車から守ってあげたりしていました。遊びや生活の中でも、担任が子どもたちの「やりたい！」を取り上げて、みんなで考えを出し合えるよう後押しをしてくれたので、いろいろランド、ウォータースライダーなど新しい遊びがたくさんできました。また、“年下の友達のために”とお手本になってやり方を教えてあげたり、楽しくなるために考えたりするなど「さすがそら組さん！」と思える場面が多く見られました。

